

「令和6年度 潮平中学校グランドデザイン」

◆5月13日現在◆

【学校教育目標】
 ○自ら学び自ら考える主体的な生徒(知育)
 ○情操豊かで思いやりのある生徒(徳育)
 ○心身ともに健康でたくましい生徒(体育)

目指す生徒像
あらゆる変化に主体的に対応できる生徒の育成
(自立・自律・献身)

【経営理念】
 学校は
 ○生徒が「通いたい学校」
 ○保護者が「通わせたい学校」
 ○地域が「支えたい学校」
 ○職員が「働きがいのある学校」

生徒指導			学力向上(スクールプラン)		
	生徒像	取り組み		生徒像	取り組み
自立	○自学学習ができる生徒 ○自分の将来像を持っている生徒	・学習アプリの活用 ・保護者との連携 ・キャリア教育、総合学習の充実	知識 技能	○他者の意見を理解できる生徒 (他者の考えを理解できる傾聴力)	・聴く態度の育成 ・ICT機器や学習ソフトの活用
自律	○気持ち良いあいさでできる生徒 ○きまりや時間を守ることができる生徒	・登校時のあいさつ指導と立哨 ・協働的な学びの実践 ・生活リズムやルールの確認と家庭との連携	思考力 判断力 表現力	○多様な見方・考え方ができる生徒 (批判的思考力)	・他者と関わる授業の設定 ・批判的思考力についての共通理解とルールづくり
献身	○自ら考え、主体的に行動できる生徒 ○諸活動に自分の達成感を持つ生徒	・生徒会活動・特別活動の充実 ・主体的な生徒会・部活動の支援	学びに向かう 人間性	○めあてを持ち主体的に学習する生徒 (メタ認知力)	・学習の振り返り野時間の確保 ・キャリア教育(かふやみ)の推進(主に振り返る力)

◆校内研修テーマ『生徒と教師一人一人が輝ける学校をめざして』～魅力ある学校づくり～
 ～他者と関わりながら、課題の解決に向かい「問い」が生まれる授業～
 ◆学力向上推進の目標:「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく授業改善の構築
 (R6 一事徹底項目:聴く態度を身に付ける)

【学校経営目標】
生徒・職員の個性を尊重し、お互いが目標を持ち主体的に学び、支援しあえる学校

<p>生徒指導の定義(R4 生徒指導提要より) 生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることが出来る存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。</p>	<p>・生徒指導の導実践上の視点 ○自己存在感の感受 ○共感的な人間関係 ○自己決定の場の提供 ○安全・安心な風土の醸成</p>	<p>子供の学びの姿 (沖縄県プランプロジェクト2) ○視点1:自己肯定感の高まり ○視点2:学び・育ちの実感 ○視点3:組織的な関わり</p>	<p>・方策1:日常化する(質的授業改善) ・方策2:そろえる(組織的共通実践) ・方策3:支える(発達の支援) ・方策4:見通す(学校組織マネジメント) ・方策5:つなぐ(学校連携・地域連携)</p>
<p>●教育基本法● (教育の目的)</p> <p>教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。</p>	<p>●沖縄県教育の目標● (沖縄県教育振興基本計画 R4～R13)</p> <p>自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ生徒を育成する。</p>	<p>●糸満市生徒像 ● (教育大綱 R3～R7)</p> <p>生徒一人一人の個性を伸ばし、社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を養い、自ら学び、自ら考え、行動できるなど「生きる力」の育成</p>	